

7月4日(土)13:30~15:30 定例学習会議事録

会場／大友氏遺跡跡：南蛮 BVNGO 交流館研修棟

出席者／青木勝久、植木直正、江藤孝文、稲葉茂、大嶋一任、大塚雄一郎、木村武司、工藤大輝、呉藤秀昭、佐藤弘俊、林壯一郎、藤田賢治、牧達夫、溝部幸祐、藪紘一、若杉孝宏。16 名

① 近況報告（役員報告約 30 分）

イ. 6月 NHK 特別番組「知恵泉」、BS11「敗者から学ぶ教訓」の感想はまずまず。しかし「ブラタモリ」は、立花宗茂を期待したが町割りをしたのは田中吉政につき期待外れだった。1%応援事業途中経過、届け出は約 50%。もうひと踏ん張りが必要だ。AI は、こちらの思いや質問、キーワードを伝えるとまず褒めてくれる。内容はこちらの思いを忖度したような期待通りの回答が得られ、満足するものだった。孤独な若者がのめりこむのが理解できたが、危惧するのは対人関係がますます希薄になるのではと不安はある(若杉)。

ロ. 大河ドラマ推進協会・牧会長活動報告。今年度は福岡県知事や柳川市長などとの行動計画がタイムスケジュールに組み込まれた。

◎2030年宗麟公生誕500年記念行事に向けて現在大分県知事をはじめとする行政機関と具体案を検討中。多彩な行事を考えているが「フォーラム」は大友氏関連の行政の長などを招き討論、コーディネイトは佐藤副理事長。

◎その他記念エッセー募集などソフトイベント(担当未)や武者行列や鉄砲隊演武などのハードイベントの担当は若杉理事長(仮)。

◎おおまかなイメージは牧会長の胸の内にあり、今夏から随時打ち合わせの機会を設ける。具体案が決まった段階で当該年度と言わず実行可能な早めの年でもいいのではないか。

◎組織作りを早急に立ち上げたい。例会のレギュラー参加者を中心としたメンバーは、毎月の定例会ほか9月末の宮城出張、11月12日は日向研修バス旅行、11月14日は8年度フォーラムを控え、メンバーは“自分事”として考え協力することが望まれる。

② ・佐伯史跡巡りで学んだこと（木村武司・50分）

○神内釈迦堂石幢 ○戦国時代の盛嶽文書 ○転輪山常高寺跡 宝篋印塔
○海潮山観音寺の宝篋印塔 ○慈さん院など。

レジュメだけでは関心が湧かなかったがスライド画面を中心に解説を始めるとよく理解できた。もっとも数年前の佐伯でのフォーラムでかなりの知識があったからでもある。ただ、録音してなかったので記憶だけで書けない。この記録は『大友氏の風景(14)』に掲載するのでご理解願います。

③・『大友宗麟』NHK大河ドラマ化の実現に向けて（江藤孝文・50分）

○大河ドラマ放映年の視聴率と当時の世相他分析、原作、脚本、作家一覧

○大河ドラマ化に向けての対応策ほか

実に詳細に資料作りがなされており感心した。A4 大にカラーで分かりやすく表現している。大河ドラマの貴重な資料になる。ここでは、まとめとして提言の一部を記述する。

大河ドラマを盛り上げる新たな提言

A 案／(1)「虎の威を借りる」＝宗麟を題材にした小説家に大河ドラマ化への奨励、推薦のことは発信してもらう。

(2)NHK へ陳情する際、安部龍太郎や赤神諒、櫻田啓ら各氏に同席を依頼する。

※上記二つは既に牧会長が個々お願いしているが、櫻田氏は実現、多忙な作家は一朝一夕にはいかない(経費の問題もある)。先日の NHK の「知恵泉」に本郷和人前教授が出演したがその効果は絶大である。そのほか県知事、大分市長、市議会議長や臼杵・津久見両市長、在京大分県人会などとの活動は嫌というほど定例会で報告している。

B 案／地元の一体感を示す

(1) 県内主要駅や賑わいのある商店街周辺でチラシ等の配布。

※過去、NPO 博や宗麟公まつりのイベント会場では積極的にやってきたが提案のように外に向かってはやっていない。

※誰がやるかが問題。我われ会員以外の外部委託は経費の関係で不可能。一体感を出すには新しいことをやる必要はなく会員各自の恒例のフォーラムの一般への参加要請が一番。現実には本人そのものも参加していないことが問題で、会員各自の意識向上が先決ではないだろうか。

C 案／ホームページ・SNS で若者層の取り込み

※HP は顕彰会と推進協議会で展開中。若杉と佐藤が担当しているが単に活動文と写真の羅列のみ。内容に魅力がないのは事実。工夫が必要であろう。過去、イラストが得意な会員が劇画タッチでアピールを試みたことがあるがほぼ不発に終わっている。そこで今回技量のある画家に宗麟家族の画像作成を依頼した。顕彰会と推進協議会の印刷物や HP など前面に出していく予定である。5月23日の宗麟公 440回忌には関西と西日本から参列者があつたが松川副住職の発信するインスタグラムを見たということ。そこでさっそく先日、ライフパル主催のインスタグラムの勉強会の講習を受けて来た。定例会でその旨報告したが、「それでは自分がやってみよう」との声は皆無。

つまり理事長としていろいろ皆さんが協力してもらえような提言をしているつもりだが反応がない。今回江藤さんの提案を拝見し、その場限りで終わらせ

たかないので以上の記述となった。ということで8月定例会で取り上げる。
以上、理事長としての回答です。皆さんも自分事として江藤さんの提案を真摯に捉えていただきたくお願いいたします。

④ AIに聞いてみました。

定例会以前に役員数人に見ていただきました。それに反応したのが江藤会員。宗麟・義統、立花宗茂、伊達政宗＝支倉常長につづくドラマをAIに聞いた回答でしたが、現在のスペインにはハポンの名前の人たちがいて彼らの祖先は支倉が残した日本人だという。その意見で夢が又広がっていきます。現在若杉はそれにはまっており次号の会報「おおとも」76号で発表するつもりです。

その他／あなたの選んだ昭和100年「心に刻まれた日本人ベスト10」

『大友氏の風景(14)』 原稿締め切りがもうすぐにつきその気のある参加者に早めに提出してくださいとお願いしました。その際「それは今、どうでもいい」という意味の発言がありましたが、佐藤副理事長の時宜に合ったいい発案だと思ったのでずっと推してきました。そういうときに冷水を浴びせるような発言は如何なものかとの思いです。

「8年度研修バス旅行説明」とき 11月12日(日帰り) 8:00～～18:15 大分駅発着
募集チラシ配布／日向高城川合戦戦没者供養祭参列バス旅行の説明。

以上、議事録らしからぬ理事長個人の意見開陳となったことは一考(反省)しなければなりませんが、私の性格上これは続きそうです。願わくは、議事録専門に担当してくれる会員を募集します。どなたか手をあげてくれませんか。

記録者;若杉 孝宏